

## 福岡県福祉サービス第三者評価の結果

### 【第三者評価機関】

名 称	公益社団法人 福岡県社会福祉士会		
所 在 地	福岡市博多区博多駅前3 9-12 アイビーコート ビル601号		
T E L	092-483-2944	F A X	092-483-3037
訪問調査日	2012年8月6~7日	評価調査者 登録番号	07-a00011 07-b00027

### 【福祉サービス事業者・施設基本情報】

法 人 名 称	ふりがな しゃかいふくしほうじん あまぎやまがくえん 社会福祉法人 甘木山学園		
法 人 の 代 表 者 名	ふりがな いしい さだむ 理事長 石井 定	設立年月日	昭和 31年10月1日
施 設 名 称	ふりがな あまぎやまにゅうじいん 甘木山乳児院	施 設 種 別	乳児院
施 設 所 在 地	〒837-0905 大牟田市大字甘木1158番地		
施 設 長 名	ふりがな いしい さなえ 石井 早苗	開設年月日	昭和 46年6月1日
T E L	(0944)58-0952	F A X	(0944)58-1106
E メール アドレス	Amagiyama2003@orion.ocn.ne.jp		
ホームページ アドレス	<a href="http://www.sunfamily-omuta.com/nyuji/">http://www.sunfamily-omuta.com/nyuji/</a>		
定 員	20名 (現員：16名 但し、一時保護委託時2名を含む)		

### 【評価結果】

#### 1 総 評

##### (1) 特に評価の高い点

・緑に囲まれ広々とした敷地に建つ明るい建物、自然を十分に生かした遊び場、緑のカーテンを兼ねた野菜作り、子供たちが収穫した野菜が食卓に並ぶなど豊かな自然と環境を大いに活用しています。幼児たちのトイレトレーニングのためにサンルームを利用するなど、おおらかさを感じます。養育困難な親、親から離れた子が家族の再構築を図り、家庭の温かさを取り戻せるように配慮されています。

・法人内にある老人保健施設、児童養護施設での日常的な交流は大家族、擬似家族として乳幼児達の心身の発育の基礎となることでしょう。

・児童家庭支援センターと連携して、里親支援、赤ちゃん110番など地域の子育て支援の窓口としての機能を発揮しています。園からも子育て支援の発信をされ、多岐に亘る

福祉ニーズに応えられることを更に期待したいと思います。

・基本方針を実現するために、長い経験からくる「子どもたちにとって」大切な愛着関係を築きながら取り組まれている日常生活、効率化された記録の仕方、IT技術を十分に生かし職員みんなで共有認識し取り組んでいる姿勢を特に評価します。

・職員の方の勤務年数の状況からは、お互いに支え合える働きやすい環境と感ずることができました。職員の養育への意欲は、子供達に活力を与え、「大切にされている」という実感が育つと確信しています。今後も他の乳児院のモデルとして丁寧な取り組みを続けられることを更に期待します。

## (2) 改善を求められる点

・法人の中の1施設のため難しい点もあるかと思われませんが、乳児院としての中長期計画、目標を法人の中に組み込まれることは必要かと思われます。社会の変化は激しく乳児院の役割も変化を求められると思ひます。各部門や課題への取り組みは丁寧に取組まれていますので、中長期計画が具現化(文書化)されれば、常にそこに立ち返り検証することができます。単年度計画の立案、実行、修正を行い「確実、正確に」目標達成されることを期待いたします。

・多くの命を育む社会的養育の場である以上、自然災害やあらゆるリスクを想定した備えが必要となるでしょう。恵まれた環境は地域の中の避難場所としての役割も今後求められることになるかもしれません。「安心、安全な生活の場の提供」のためにも一層の入念な検証と防災計画を立てられることを期待します。

## 2 第三者評価の結果に対する事業者のコメント

今回初めて第三者評価を受審し、子どもに対する処遇や施設運営等の内容を自己評価していくと、乳児院に求められているサービスの質を改めて感じ取ることが出来たと同時に改善しなければならない点が明らかになりました。又、職員一人一人の自覚が芽生え良い緊張感を得ることが出来ました。

改善が求められる中長期的計画では目標を達成するために具体的な計画策定と具現化を進めていきます。まずはこれから求められる社会的養護の更なる充実のために組織・職員体制を整える事を第一目標に掲げ、実現に向けた中長期計画を策定していきます。

又、防災計画での指摘に関しては立地条件から考えられる自然災害に対してのリスク対策が不足していましたので法人全体で問題点の把握や見直しを行っていきます。

## 3 共通評価基準及び個別評価基準の評価項目による第三者評価結果(別添)

## 【乳児院】 個別評価基準 評価項目（全76項目）の評価結果

### 福祉サービスの基本方針と組織

#### - 1 理念・基本方針

【 - 1 - ( 1 ) 理念、基本方針が確立されている。】			評価結果	コメント
1	- 1 - ( 1 ) -	理念が明文化されている。	a · b · c	1、分かりやすい言葉でこどもが大切に育てられ、人として成長していく為の理念が掲げられている。また乳児院が果たす社会的擁護の視点で職員と話し合い、理念は必要に応じて見直されている。 2、「より適切ななかかわりをする為のチェックポイント」の見なおしを権利擁護委員会を中心に行っている。
2	- 1 - ( 1 ) -	理念に基づく基本方針が明文化されている。	a · b · c	
【 - 1 - ( 2 ) 理念や基本方針が周知されている。】			評価結果	コメント
3	- 1 - ( 2 ) -	理念や基本方針が職員に周知されている。	a · b · c	3、会議等で理念や基本方針は配布されている。また見なおし等の進捗状況も職員間に報告されている。日常的には常勤、非常勤職員を問わず朝礼で確認しあっている。 4、理念や基本方針が掲載されたパンフレットで分かりやすく説明されている。入所時には入所受け入れファイル等でより具体的に日常のスケジュールや衣食住に関することや理念を活かした取り組みなどが説明されている。
4	- 1 - ( 2 ) -	理念や基本方針が利用者等に周知されている。	a · b · c	

#### - 2 計画の策定

【 - 2 - ( 1 ) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。】			評価結果	コメント
5	- 2 - ( 1 ) -	中・長期計画が策定されている。	a · - · c	5、養育目標を掲げ、目標達成の為の各部門の計画や仕組みは丁寧に取り組まれている。単年度の評価から課題の発見、次年度の計画へとつなぎ、中長期の計画として文書化されることが望ましい。 6、中長期計画の文書化されたものが柱にあれば、単年度の評価や次年度の計画がより効果的なものとなることが期待できる。
6	- 2 - ( 1 ) -	中・長期計画を踏まえた事業計画が策定されている。	a · - · c	
【 - 2 - ( 2 ) 計画が適切に策定されている。】			評価結果	コメント
7	- 2 - ( 2 ) -	計画の策定が組織的に行われている。	a · b · c	7、保護者支援が非常に困難という課題があるでしょうが親子関係の再構築、家庭養護への復帰という使命を担うためにも利用者等の意見を聞き計画に反映させてください。 8、大切に育てることで、子供が存在感や価値観を高めて欲しいとの理念を反映させた事業計画を保護者にも周知する工夫が望まれる。
8	- 2 - ( 2 ) -	計画が職員や利用者等に周知されている。	a · b · c	

## - 3 管理者の責任とリーダーシップ

【 - 3 - ( 1 ) 管理者の責任が明確にされている。】			評価結果	コメント
9	- 3 - ( 1 ) -	管理者自らの役割と責任を職員に対して表明している。	Ⓐ b・c	9、看護師の専門知識の上に事務職、経営管理等を含めたリーダー職を20年以上取り組んでいる。職員組織図や指定管理職定義等で管理者を始め職員間リーダー以上の責務を明確にしている。
10	- 3 - ( 1 ) -	遵守すべき法令等を正しく理解するための取り組みを行っている。	Ⓐ b・c	10、県からの法令に関する資料や情報は月1回のリーダー会議で話し合う、具体的には社会的擁護の里親事業の推進などが求められ、経営的な課題も含めて職員会議等で進捗状況を伝え検討している。
【 - 3 - ( 2 ) 管理者のリーダーシップが発揮されている。】			評価結果	コメント
11	- 3 - ( 2 ) -	質の向上に意欲を持ちその取り組みに指導力を発揮している。	Ⓐ b・c	11、法令遵守の視点で作成された自己評価表を職員がつけ、それを見直すことで課題や改善点が発見できるシステムを作っている。課題や提言は自由記載であるため、声を出しやすく職員会議等での合議も行っている。
12	- 3 - ( 2 ) -	経営や業務の効率化と改善に向けた取り組みに指導力を発揮している。	a Ⓑ c	12、法人独自の人事委員会等の活用もあるが、管理者は計画に基づいた人事、労務、財務等のリーダーシップが更に求められる。

## 組織の運営管理

### - 1 経営状況の把握

【 - 1 - ( 1 ) 経営環境の変化等に適切に対応している。】			評価結果	コメント
13	- 1 - ( 1 ) -	事業経営をとりまく環境が的確に把握されている。	a・ <b>b</b> ・c	13、県内6施設の情報交換やネット等により全国の施設情勢の把握に努めている。
14	- 1 - ( 1 ) -	経営状況を分析して改善すべき課題を発見する取り組みを行っている。	a・ <b>b</b> ・c	14、法人の中の一施設なので乳児院独自の難しさは想像できるが計画の中に取り組みることが必要かと思われる。
15	- 1 - ( 1 ) -	外部監査が実施されている。	a・b・ <b>c</b>	15、今後、公認会計士等の外部監査を行うことでより効果的な経営改善を目指してください。

### - 2 人材の確保・養成

【 - 2 - ( 1 ) 人事管理の体制が整備されている。】			評価結果	コメント
16	- 2 - ( 1 ) -	必要な人材に関する具体的なプランが確立している。	a・ <b>b</b> ・c	16、人事委員会をもうけ、パート職まで待遇を改善されるなど前向きに取り組んでいる。職員の定数を見直し法人施設間での職員出向等も考えられている。今後、乳児院独自のプランに基づいた人事管理を実施することで必要な人材と人員体制の確保が期待できる。
17	- 2 - ( 1 ) -	人事考課が客観的な基準に基づいて行われている。	<b>a</b> ・b・c	17、各職員の自己評価を基に面接などを取り入れ問題をきちんと取り上げ会議等に出し客観的に解決策を出すようにしている。
【 - 2 - ( 2 ) 職員の就業状況に配慮がなされている。】			評価結果	コメント
18	- 2 - ( 2 ) -	職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。	<b>a</b> ・b・c	18、就業に関する意見等は職員全員の自己評価より課題を見つけ改善されている。健康診断及び専門のカウンセラーの相談も定期的に行われている。
19	- 2 - ( 2 ) -	福利厚生事業に積極的に取り組んでいる。	<b>a</b> ・b・c	19、職員旅行、夏、冬の懇親会等で職員間で楽しんでいる。また、心理療法士によるこころの健康に取り組んでいる。

【 - 2 - ( 3 ) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。】			評価結果	コメント
20	- 2 - ( 3 ) -	職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。	a (b) c	20、各職員の研修履歴を整備することで役割を踏まえた研修を心がけるようにして質の向上を目指している。更に中長期計画の中に明示し目標達成の為に資格や専門技術を取得できる組織としての取り組みが望まれる。 21、保育士、栄養士、看護師グループで月1回の勉強会が行われ職員の技術水準、知識等の把握に努めている。また看護師グループが「天使の豆知識」として薬など医療に関する知識を他グループに研修するなど質の向上と共有化に努めている。 22、研修履歴等を活用して、定期的に研修計画を見直すことで、個々には適切な研修となり、組織としてその効果の共有が期待できる。 23、新任研修では法令遵守等の研修は行われている。社会的役割を担う組織としては、関連法令等は基本理念、運営の根幹を成すものであるため組織全体で研修が行われることが望ましい。
21	- 2 - ( 3 ) -	個別の職員に対して組織としての教育・研修計画が策定され、計画に基づいて具体的な取り組みが行われている。	a (b) c	
22	- 2 - ( 3 ) -	定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。	a (b) c	
23	- 2 - ( 3 ) -	職員に対して、遵守すべき法令等を正しく理解するために研修を行っている。	a (b) c	
【 - 2 - ( 4 ) 実習生の受け入れが適切に行われている。】			評価結果	コメント
24	- 2 - ( 4 ) -	実習生の受け入れに対する基本的な姿勢を明確にし体制を整備している。	(a) b c	24、現在、保育士の実習生を実習生受け入れマニュアルに添って対応している。 25、実習生からの実習後のアンケートは、今後の実習生の育成に活かされている。今後、社会福祉に係る資格取得のための実習生の受け入れを期待します。
25	- 2 - ( 4 ) -	実習生の育成について積極的な取り組みを行っている。	a (b) c	

## - 3 安全管理

【 - 3 - ( 1 ) 利用者の安全を確保するための取り組みが行われている。】			評価結果	コメント
26	- 3 - ( 1 ) -	緊急時（事故、感染症の発生時等）の対応等利用者の安全確保のための体制が整備されている。	a (b) c	26、法人内にある児童養護施設からの防犯情報にとどまらず、独自に警察等地域の関係機関と連携して安全対策を機能させることが望ましい。 27、防災委員からのリスクの把握、ヒヤリハットの活用はされていますが、今後あらゆるリスクを想定して事例収集を行い職員全体で検討対策を講じることが期待されます。
27	- 3 - ( 1 ) -	利用者の安全確保のためにリスクを把握し、対策を実行している。	a (b) c	28、山間部であるため孤立した場合を想定してマニュアルの見なおしなどが行われている。院内の日常的なことは充分配慮されとりくまれている。自然災害の場合、今まで起きていないことにも広げて検討、整備されることが必要かと思われる。
28	- 3 - ( 1 ) -	災害等の発生時における防災体制が整備されている。	a (b) c	

## - 4 地域との交流と連携

【 - 4 - ( 1 ) 地域との関係が適切に確保されている。】			評価結果	コメント
29	- 4 - ( 1 ) -	利用者と地域とのかわりを大切にしている。	(a) b c	29、地区の社会福祉協議会の評議委員をすることで施設の役員会で報告を行い、地域交流のための窓口となっている。地域との交流は院内では掲示板で伝え、施設からの情報は公民館、児童相談所、民生委員を通して伝えている。また子育て支援センターを広報誌に載せ児童相談員による講演活動を年間50件近く行うなど地域から信頼されている。
30	- 4 - ( 1 ) -	事業所が有する機能を地域に還元している。	(a) b c	30、いちご狩など地域交流事業を通して子育て支援を行っている。「赤ちゃん110番」は市役所のホームページでも紹介されるなど24時間対応している。
31	- 4 - ( 1 ) -	ボランティア受け入れに対する基本姿勢を明確にし、体制を確立している。	(a) b c	31、ボランティア受け入れマニュアルに添ってオリエンテーション、個人情報の保護のため誓約書を交わし、担当者を設置して活動参加しやすい配慮をしている。
【 - 4 - ( 2 ) 関係機関との連携が確保されている。】			評価結果	コメント
32	- 4 - ( 2 ) -	必要な社会資源を明確にしている。	(a) b c	32、児童相談所からの一時保護、市、病院、里親委託など地域の社会資源と連携してサービスが提供されている。施設内では関係機関等の情報を共有化して職員が適切に対応できる仕組みを作っている。
33	- 4 - ( 2 ) -	関係機関等との連携が適切に行われている。	a (b) c	33、心理士の派遣や市の事業受け入れで関係機関との連携は図られ事例勉強会も行われているが子供の視点から学校との連携を更に進めてほしい。地域の学校はこども達の成長の場でありあらゆる社会参加の場である。日常的な学校との交流は課題の発見が出来、検討することで子供達にとって過ごしやすい環境となることが期待できる。

【 - 4 - ( 3 ) 地域の福祉向上のための取り組みを行っている。】			評価結果	コメント
34	- 4 - ( 3 ) -	地域の福祉ニーズを把握している。	a (b) c	34、乳児院では「赤ちゃん110番」で24時間、子育てに関する相談を受けている。意見箱から更に発展させ、法人内の児童家庭支援センターと連携してより多くの福祉ニーズを把握し地域住民に福祉情報を発信する社会的役割を期待したい。
35	- 4 - ( 3 ) -	地域の福祉ニーズに基づく事業・活動が行われている。	a (b) c	35、把握した福祉ニーズに基づいた具体的な事業活動を中長期計画の中に明示されることが必要かと思われます。

### 適切な福祉サービスの実施

#### - 1 利用者本位の福祉サービス

【 - 1 - ( 1 ) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。】			評価結果	コメント
36	- 1 - ( 1 ) -	利用者を尊重したサービス提供について共通の理解をもつための取り組みを行っている。	(a) b c	36、洋服を買う、食事に出かけるなど普通の家庭のように職員が1対1で向き合っている。時には職員の自宅にも連れて帰るなど、愛着関係をしっかりと築くように努めている。月1回対応の見なおしを行い、ケース会議等で検討共有している。
37	- 1 - ( 1 ) -	利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している。	(a) b c	37、個人情報保護管理規定を作成し懲戒権の濫用、守秘義務、セクハラ、パワハラ、飲酒に関する条項を設け職員に周知している。



【 - 1 - ( 2 ) 利用者満足の上昇に努めている。】			評価結果	コメント
38	- 1 - ( 2 ) -	利用者満足の上昇を意図した仕組みを整備している。	a (b) c	38、面会、面接は随時対応。家庭養育の支援、親子関係の修復の為に院側からの定期的な利用者の意向調査が必要と思われる。
39	- 1 - ( 2 ) -	利用者満足の上昇に向けた取り組みを行っている。	a (b) c	39、預けたままにならないように年に4～5回は誕生カード、メッセージカードなどを活用し取り組んでいることは評価される。利用者の満足度、意向調査を行うことでより効果的な取り組みが期待できる。
【 - 1 - ( 3 ) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。】			評価結果	コメント
40	- 1 - ( 3 ) -	利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備している。	a (b) c	40、「赤ちゃん110番」など相談窓口や相談相手は複数あるので、それを利用者が自由に選べ意見が言えるよう分かりやすい文書等を作成し広報することも必要と思われる。
41	- 1 - ( 3 ) -	苦情解決の仕組みが確立され、十分に周知・機能している。	(a) b c	41、来院、面会など思わしくない場合にはこどもの写真付きで便りを出したり電話をしたり保護者の気持ちをほぐすよう努力されている。
42	- 1 - ( 3 ) -	利用者からの意見等に対して迅速に対応している。	(a) b c	42、H18年度からの苦情や解決等の記録があり、そのデータを活かし対応している。

## - 2 サービスの質の確保

【 - 2 - ( 1 ) 質の上昇に向けた取り組みが組織的に行われている。】			評価結果	コメント
43	- 2 - ( 1 ) -	サービス内容について定期的に評価を行う体制を整備している。	a (b) c	43、利用者の声を意向調査等によって自己評価に反映させることが望ましい。
44	- 2 - ( 1 ) -	評価の結果に基づき組織として取り組むべき課題を明確にしている。	a (b) c	44、評価を客観的に取り組むことで課題が明確になり組織として取り組むことが期待できる。
45	- 2 - ( 1 ) -	課題に対する改善策・改善計画を立て実施している。	a (b) c	45、日常的には整備され、実施されているが外部評価等で客観的に取り組まれ必要に応じて計画の見直しをされることが望ましい。
【 - 2 - ( 2 ) 個々のサービスの標準的な実施方法が確立している。】			評価結果	コメント
46	- 2 - ( 2 ) -	個々のサービスについて標準的な実施方法が文書化されサービスが提供されている。	(a) b c	46、各種マニュアルにそって個々のサービスが実施されている。朝礼や職員会議、各部門のケース会議等で実施の確認を徹底している。
47	- 2 - ( 2 ) -	標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立されている。	(a) b c	47、各部門で定期、臨時、随時に必要に応じて見なおしされている。
【 - 2 - ( 3 ) サービス実施の記録が適切に行われている。】			評価結果	コメント
48	- 2 - ( 3 ) -	利用者に関するサービス実施状況の記録が適切に行われている。	(a) b c	48、記録は統一して効率化を図りパソコンシステムで共有化されている。1ヶ月毎、一年毎にも整理、管理されている。個人記録は持ち返らぬよう徹底されている。
49	- 2 - ( 3 ) -	利用者に関する記録・データを含めた個人情報の管理体制が確立している。	a (b) c	49、個人情報保護の情報開示の観点から、組織としての対応を職員研修等で検討されることが望ましい。
50	- 2 - ( 3 ) -	利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している。	(a) b c	50、職員の記録作業の効率化、簡素化のために統一された様式で情報を共有している。

## - 3 サービスの開始・継続

【 - 3 - ( 1 ) サービス提供の開始が適切に行われている。】			評価結果	コメント
51	- 3 - ( 1 ) -	利用者希望に対してサービス選択に必要な情報を提供している。	a・ <b>b</b> ・c	5 1、理念を記したパンフやホームページで必要な情報は伝わるが、地域に根ざし子育て支援事業、赤ちゃん110番、ショートステイなど多岐に亘る活動をしている。市、県の関係機関と連携して社会的養護を担う重要な拠点として活躍されている現状を是非ビデオを作製して広報されることを期待します。
52	- 3 - ( 1 ) -	サービスの開始にあたり利用者等に説明し同意を得ている。	<b>a</b> ・b・c	5 2、利用者に社会的養育の写真や絵などを活用して分かりやすくしている。説明には必ず資料を使い、同意を得ている。
【 - 3 - ( 2 ) サービスの継続性に配慮した対応が行われている。】			評価結果	コメント
53	- 3 - ( 2 ) -	事業所の変更や家庭への移行等にあたり、サービスの継続性に配慮した対応を行っている。	<b>a</b> ・b・c	5 3、3週間かけてのならば保育（遠方は訪問）を心がけ担任は付き添いにも配慮されている。

## - 4 サービス実施計画の策定

【 - 4 - ( 1 ) 利用者のアセスメントが行われている。】			評価結果	コメント
54	- 4 - ( 1 ) -	定められた手順に従ってアセスメントを行っている。	a (b) c	5 4、アセスメントの見なおしは、毎月のケース会議のときに担当者が主になって討議し、見直しが行われているがより正確なアセスメントの定期見なおしの手順等を検討中である。
55	- 4 - ( 1 ) -	利用者の課題を個別のサービス場面ごとに明示している。	(a) b c	5 5、乳幼児は4ヵ月毎のケース会議で行っている。健康面、排泄面など分野毎にパソコンにきちんと整理されている。
【 - 4 - ( 2 ) 利用者に対するサービス実施計画が策定されている。】			評価結果	コメント
56	- 4 - ( 2 ) -	サービス実施計画を適切に策定している。	a (b) c	5 6、サービス実施計画が適切に策定され実行されていくためには定期的な見直しが必要である。見直し、計画策定、実行を確認する仕組みにやや不十分さが感じられる。
57	- 4 - ( 2 ) -	定期的にサービス実施計画の評価・見直しを行っている。	a (b) c	5 7、計画を策定し見直しも実施されているが、手順等に明記されていることが望ましい。

## A - 1 日常生活支援サービス

【 A - 1 - ( 1 ) 援助の基本】			評価結果	コメント
58	A - 1 - ( 1 ) -	乳幼児と愛着関係を築くように努めている。	(a) b c	5 8、養育担当制をとり、可能な限り随所まで正、及び副で対応できるよう勤務体制を工夫している。
【 A - 1 - ( 2 ) 健康管理】			評価結果	コメント
59	A - 1 - ( 2 ) -	一人ひとりの乳幼児の健康を管理し、異常がある場合には適切に対応している。	(a) b c	5 9、毎週火曜日は嘱託医の検診を実施している。健康管理記録はマニュアルに添って統一した手法で管理されている。異常の場合は直ぐに指示が出る体制が整っている。
60	A - 1 - ( 2 ) -	病・虚弱児等の健康管理について、日常生活上で適切な対応策をとっている。	(a) b c	6 0、看護師もいるが保育士でも異常に気づくことが出来るよう緊急時通院マニュアル等を整備している。
61	A - 1 - ( 2 ) -	乳幼児突然死症候群 ( S I D S ) や窒息の予防策を講じている。	(a) b c	6 1、夜間は15分毎のチェック体制、おひる寝時はベビーセンサーを4台設置してS I D S の予防策を講じている。また、月1回は看護師グループが中心となって救急蘇生法を実施して教育を行っている。夜勤者を対象に夜間の救急蘇生法の訓練も行われている。

【 A - 1 - ( 3 ) 睡眠環境等】			評価結果	コメント
62	A - 1 - ( 3 ) -	乳幼児が十分な睡眠をとれるように工夫している。	(a) b・c	<p>62、乳幼児一人ひとりの状態に合わせ、ベッド、畳で布団の上など工夫されている。畳で添い寝をしたり、オルゴールや心音など心地よく眠りにつけるよう工夫されている。</p> <p>63、寝具などは豊かな自然の中で太陽を利用した日光消毒を行うことができ、雨天時には布団乾燥機で清潔、快適さが保たれている。シーツ類も毎日交換、洗濯し衣服同様清潔を心がけている。</p> <p>64、衣類は個別化され、整理整頓され清潔に保たれている。必要に応じて新しいものも購入されている。起床後、午睡後は汗の確認を直接肌に触れて確かめ必要に応じてシャワーで快適にするなどやさしい自然な配慮がされている。</p> <p>65、入浴時は乳児の心理面、安全も考慮し職員は裸で介助する体制がとられている。</p>
63	A - 1 - ( 3 ) -	快適な睡眠環境を整えるように工夫している。	(a) b・c	
64	A - 1 - ( 3 ) -	気候や場面、発達に応じた適切な衣類管理を行っている。	(a) b・c	
65	A - 1 - ( 3 ) -	快適な入浴・沐浴ができるようにしている。	(a) b・c	
【 A - 1 - ( 4 ) 食事】			評価結果	
66	A - 1 - ( 4 ) -	乳幼児に対して適切な授乳を行っている。	(a) b・c	<p>66、授乳は優しく抱き言葉掛けや目を合わせて授乳するなどの対応をしている。マニュアル等で施設内で共通理解されている。</p> <p>67、食事の意欲を育てることに実践工夫されている。</p> <p>68、誕生会やひな祭りなどの行事会に加え、月1回のお弁当の日やバイキングの日を設けて楽しい食事への取り組みもある。</p> <p>69、食事の素材を大切に、月令に応じて栄養士がメニューを立てている。メニューの見なおしの時には新メニューを立てるなど工夫をしている。果物や野菜を使って手づくりジュースなどは栄養管理と本物の確かな味覚を育てる工夫として取り組まれている。</p>
67	A - 1 - ( 4 ) -	離乳食を進めるに際しては十分な配慮をしている。	(a) b・c	
68	A - 1 - ( 4 ) -	食事がおいしく楽しく食べられるよう工夫している。	(a) b・c	
69	A - 1 - ( 4 ) -	栄養管理に十分な注意が払われている。	(a) b・c	
【 A - 1 - ( 5 ) 発達段階に応じた支援】			評価結果	
70	A - 1 - ( 5 ) -	子どもが排泄への意識を持てるように工夫している。	(a) b・c	<p>70、安心して排泄できるようハード面での改善が実施されている。</p> <p>71、自然いっぱいの環境の中にあるが、法人のバスを活用してドライブ、動物園、イチゴ狩りなど楽しくなるよう工夫されている。</p>
71	A - 1 - ( 5 ) -	発達段階に応じて乳幼児が楽しく遊べるように工夫している。	(a) b・c	

【A - 1 - (6) 家族とのつながり】		評価結果	コメント
72	A - 1 - (6) -	児童相談所等と連携し、乳幼児と家族との関係調整を図ったり、家族からの相談に応じる体制づくりができています。	72、入所中に親子関係を断ち切らないために捨て子防止委員会を設定し取り組まれている。外泊等の前後には体重の増減などのチェックを行い安全の確保に努めている。
73	A - 1 - (6) -	保護者と子の愛着関係、養育意欲の形成を援助するように努力している。	73、面会の少ない保護者には特に配慮して、子供の発達状況や写真などをつけたメッセージカードを送り成長を知らせている。親からの連絡や面会があったときは、職員は丁寧に親の相談にのり養育意欲の向上に努めている。
74	A - 1 - (6) -	乳幼児と保護者に必要な心理的支援を行っている。	74、職員は愛着関係の研修や心理士によるプレイセラピーを積極的に取り入れ、親への心理的サポートを行っている。

## A - 2 利用者の尊重

【A - 2 - (1) 乳幼児の権利擁護】		評価結果	コメント
75	A - 2 - (1) -	体罰が行われないよう徹底されている。	75、就業規則等の中に体罰禁止が明示されている。
76	A - 2 - (1) -	乳幼児に対する暴力、言葉による脅かし等の不適切な関わりの防止と早期発見に取り組んでいる。	76、不適切な関わりを見聞きした場合は、現場のリーダーから具体的に注意したり、周囲の情報を集め確認作業を行っており、努力している。